

刊夕日三廿月七



定価一冊五銭... 発行所 常警日新新聞社



盆踊と盆唄 (三)

霜月寮 白土五郎

四、民衆藝術としての盆踊
盆踊は古典的な民衆藝術である。

時代思想に影響されて、
傳統的なものにはあきたらず、
奇抜な獨創的な盆踊盆唄は、
狡猾な商人の金儲けのためや、
賣店者などに依つて年々新作され、
それも、それは一二年で忘れられてしまふが、
千載百年來の傳統的唄と踊は、
大衆の懐裡から忘れられるものでない。

盆踊がたけなはなになれば、
種々雑他な唄が出て、
唄の行き詰りが来る、
踊はだれる、
その時唯か一人、
土地在來の古い歌を唄へば、
皆それにつれて合唱し、
元氣は快復し、
新に旺盛に踊り狂ふ、
そして鶏の鳴いたのも夜の明けのるも知らずに踊り狂ふのである。

三四年、文部省の肝煎りで、
詩人や坊さん達によつて盆うたが創作され、
好評を得た、
その代表的ものを書いて見る。

野口雨情
麥は俄、田草終へて踊り

おどろの盆が来る盆が盆
がと待つ日は永く来れば
三日で盆は行く
小林一郎

汗のしづくが流れて落ちて
花も咲き出す實を結ぶ
國のさかえも身の喜びも
心一つの力ぐさ
常磐大定

明日の秋立
朝味噌汁一若芽
小井 大根おろし

【晝】餛飩油付焼
小井 福神漬
【晚】精進揚一 大根おろし
酢の物 味噌和へ 豚肉と玉葱

西と東の境がとれた丸い
世界に盆のうた積る恨も
さらりと捨て、日夜美しく
盆踊り
八百谷順應

月に端山に風さらさら、と
揃つた浴衣の袖を吹く結
硬かるかや夜露にぬれて
ぬれた葉末に虫が鳴く
羽田野仁

月に踊れば袂がしめるお
慈悲うれしいしみくと
北原白秋

精霊とんぼの出盛る頃は
水にすい／＼花が咲く今宵
宵和盆の子のお盆すづ
しい組蚊帳はなせ青い
民衆藝術である盆うたは
字數や字句の鐵則があつて
はならない、
百姓漁夫の言葉をもつてその生活の中
から自由自在に、
赤銅色の身体ごづ／＼した腕から生
れるところのほき／＼した力ある藝術である。

この盆うたは盆にばかり
うたふのはなくして田植
の時、田の草を取る時草を
刈り麥を踏む時茶摘に何時
何處でも同然に、
百姓の口から湧くのである。
このうたのある處、必ず自由と樂
しみがある。
の單純なり
ズムの中に言ひ知れぬ吸め
ども盡きぬ人と慰さめると
ころの甘露があるのであ
る。
こゝに盆うたは民衆藝
として最高の價値がある。

木村外科醫院

平町六丁目橋際
電話三〇九番

吉田眼科醫院

平紺屋町 電話 六八番
醫學士 吉田久雄

開業參拾週年記念

謝恩デー (七月廿四日二日間)
三重景品附大賣出し... 金五拾錢以上御買上の御方に

球ナフタリン攔取

樟腦代用品よけ片手に攔めるだけ運よく球ナフタリン
を拾五個ツカンだ人に更に蠅取紙進上致します。
尙ほ御買上ならなくても御來店の御方に豆團扇と鉛筆
を差上げます。
平町古鍛冶町縣社の下

阿康藥局

電話 四四四番
振替口座 東京三〇〇五

是非!

御融通には御用命下さい
萬事便利な御相談に應じます。

三井質店

平・四 電六〇六番

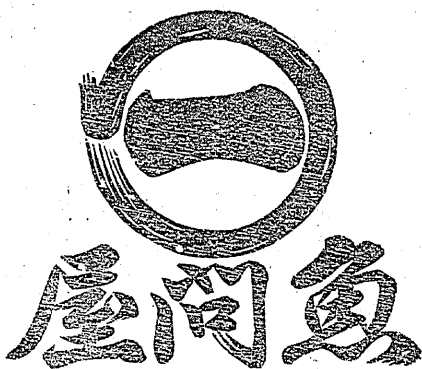
計時眼鏡

高橋時計店
平町二丁目
・小役員募集委細面談。

御進物に

鯉節

貝焼 鯉鹽から



榮盛賀志
番三一二話電 目丁四平

毎度御引立を戴いてゐる

藤寅では例年通り
冷たい美味しい飲物

アイスクリーム アツキアイス
ミルクセーキ ソーダ水
ミツ豆 クリームソーダ

其他氷水各種

相初めました。是非夏の夕の御散步歸へりに御立寄り下さい。

平一丁目

藤寅
電話一四一番

七月二十日土用入。同二十三日大暑
同三十日土用丑日。八月八日立秋

時下各位如何御暮被遊候哉御伺申上候
尙盛夏行事

土用丑日牛肉賣出を

例年通可致候

平町田町
三一三肉店
電話 三二三番

警女娘子軍の陣營全く成る

けふ正式に選手決定

警女の縣下体育大會出場選手は本日正式に左の如く決定され、二十九日正木校長始め中川教諭永島、蝦名、新妻、石山、松浦、鈴木、大内、橋本の各教諭に引率され、午後八時三十分で出發する由。

- △陸上競技(六十米)二年北川ハルイ(百米)四年比佐道子(二百米)二年馬目喜久興(走幅跳)三年五十風剛子(走高跳)三年藤落モツ子(三段跳)三年木村トシ(籠球投)四年高橋智(三種)三年織田芳枝(四百繼走)比佐 木村 菅 葉 五十風(八百繼走)比佐 木村 馬目 五十風 米其他青田トシ子 村田良子 長谷川スミ 野澤時枝 大須賀ツネ 阿部
- 直子 渡邊マリ子 中村ハル子 片寄一枝 △庭球四年鶴山廣子 同熊トリ子 同田村マツ子 同村井廣子 三年田子トク 同今田操 同中村シゲ 同本田サダ △籠球四年阿部トシ子 同大泉美智子 同飯塚テツ 同新妻セイ 同花澤ツヤ子 同桑原ハツノ 三年地村琴 同長瀬マズ子 二年長瀬キミ 同志賀カツヨ △排球四年鷺マズ 同立花キカ 同鈴木キヨ 三年正木千鶴子 同江川テル子 四年飯島シゲ 同菊地テツ 同吉田久美 同福田千枝子 三年鯨岡トミ子 同鈴木トヨ子 同大泉ケイ子 同春川チカ

防護团组织

平町で協議會

(既報)平町では今秋九月十一、二兩日全縣下に亘つて實施される防空演習が福島若松、郡山各都市と共に平地方を中心に行はれるため「防護委員會」を設置して之に備へることになり、明後二十日午前八時から同町會議室に於て慎重な打合せを行ふことになつたが當

警察署長 消防組頭 町議 青年團長 小學校長 電氣會社 在郷軍人聯合分會長 同分會會長 郵便局長
その他各種團體首腦部を網羅、平町非常變災の際に於ける萬全を期して準備を進めることになつた

ラヂオ体操指導員決定

ラヂオ体操指導員は既報の如く来る八月一日から二十日間第一、第三の兩校庭に開催されるがこれが指導員は左の如く今二十三日各校より七名宛計二十一名の諸訓導が當ると

- (第一)横田、水竹、仲村 佐藤、鈴木、三森、瓜田 (第二)鈴木、米本、高畑 横須賀、熊谷、海野、天野、(第三)新家、石田、風間、遠藤、小松、三本杉、西巻

蘭買入の總額廿八萬圓

片倉製糸精算 平町片倉製糸工場の春蘭買入れに就いての精算は此程終了したが春蘭購入は石城双葉相馬三郡下並、茨城縣多賀郡等四郡の特約組合二百七十一組合その他合計六萬三千貫價値は高値五圓十八錢、安値四圓八十五錢買馴九圓で總額二十八萬餘圓に達し昨年比に比し六萬三千圓を増加した

兒童競技大會種目

十六校参加 既報石城第三區小學校兒童の陸上競技大會は愈々明後二十五日午前八時から平第一俊庭に平第一外十五校五年以上の兒童参加華々しく開催されるが各學年の種目は左の如く

- △トラック之部(五ノ男) 百米 四百繼走(五ノ女) 五十米 四百繼走(六ノ男) 百米 六百繼走 六十米 ハードル(六ノ女) 百米 四百繼走(高一ノ男) 二百米 八十米ハードル 八百繼走(高一ノ女) 百米 四百繼走(高二ノ男) 二百米 八十米ハードル 八百繼走(高二ノ女) 百米 四百繼走(高三ノ男) 二百米 八十米ハードル 八百繼走(高三ノ女) 百米 四百繼走(四ノ男) 百球投 走幅跳 (五ノ女) 百球投 走幅跳 (六ノ男) 百球投 走高跳 (六ノ女) 百球投 走幅跳 (高一ノ男) 百球投 三段跳 (高一ノ女) 百球投 走幅跳 (高二ノ男) 百球投 走高跳 (高二ノ女) 百球投 走幅跳

軍需景氣に煽られ 茶種が十圓突破か

二十五日の共同販賣に 來る二十五日平農倉庫で行はれる第一回茶種共同販賣は既報の如く例年より氣候が遅れたので出荷薄と見られて居るが本年は軍需工業が躍進し茶種油の需要激増して居る結果、茶種相場は昨年一俵八圓三十錢したものが本年は九圓六十錢から十圓を突破すると見られて居るので郡下農村はいづれも出荷を急いで居るが共販機關のない双葉郡下の農村からも既に百五十俵の茶種を平農倉に送り共販方を依頼して來た

更生途上の報徳主義村

報徳主義を標榜し「經濟更生實現の速進に邁進して」の鹿島村では之が實現強化に部落制を制定して更生策の各方面に亘つ「眞摯な研究を續行してゐるが本廿三日は二宮尊徳先生の命日に相當する意義ある日なので同村大字米田部落では午後一時から部落會常會を開催郡農會柴田技手の講演があつた

柴司法主任廿七日赴任

柴司法主任(管内常葉警部補派出所に轉勤に決定し)平署司法主任警部補柴一枝氏は廿七日午前十一時十分平署警務課赴任した

平土木委員會

平土木委員會は昨二十二日午後八時迄調査すると

平商生が研究

平商業學校五年生は夏休を利用して平驛の業務研究の爲め連日同驛の荷物の發送到着數と行先地の調査及機關庫保線區の作業狀態等を八月末日迄調査すると

御禮

生ビール發賣以來連夜豫定の樽數を賣盡し有難う存じます。就ては御禮として毎土曜日を「黒ビールデー」として御奉仕いたします。

平會館

暑中御伺 時節柄宣傳には是非「チンドンヤ」を御利用下さい 委細は平町仲間町六九九 丸屋春日亭米之へ

耳鼻咽喉科専門

病室完備 自炊便有 山内醫院 醫學士 山内亨 吉

平町人壽

△結婚 平町二七當時横濱市中區井五ヶ谷町内一二八加治孝司氏八女道子さん △三町目五八當時ハルヒン市宣化衛政府代用官舎一

平町人壽

△相馬郡高平村大字上高平山字西段三四成田義昌氏(四三)田町一〇山口ヨシさん(四四) △回死 平町三六當時内郷村大字宮字町目一二安川ヨシエさん(二六)

平町人壽

△八平平農氏五女朝子さん △結婚 姻

平町人壽

△回死 亡

千五百の生徒 五分で避難

平第一の演習

けふ頗る好成绩を挙げ

今二十三日午前九時四十五分平第一小學校裏の一民家より出火折柄の西北風に煽られ新校舎附近が煙に巻かれて本校に延焼せんとする想定の下に同校の職員始め少年消防隊が各部署につき極力消火に努め千五百名の生徒を奉安庫附近に避難する演習を行ったが全校児童の避難時間僅か五分で頗る好成绩を挙げた

焦熱の「機關手」

洗面所設置

平、水戸間汽關車乗務員は前記兩縣を出発すると繼續的に長途の時間を焦熱の汽關室にあつて極度に度勞するので水戸運輸では今廿三日から八月一杯これ等機關車乗務員の爲め勿來慎田の兩縣に洗面所を設けると

各濱目がけて 寶の入船

今年は団体が 相次いで来る

四倉、豊岡、小名濱等の海水浴場は愈々本格的シーズンに入つたので浴客吸集の宣傳にいづれも大童であるがこの効果は忽ち現れ来る廿六日には郡山縣長主催の四倉行日歸りと一泊の二團體三百名が地方團體浴客の一番乗りとして押掛けるが一泊組の百五十名は四倉各旅館に分宿し廿七日は自動車で新舞子、鹽屋崎、小名濱、平町等を見物、平驛發午後四時四十九分の郡山行

俺は強い

醉態男檢束

廿二日夜九時頃平町大工町地内で通行人を捕えて手當り次第に亂暴を働かせる男あるを檢束したが右は神奈川高野郡一勝澤村生當時住所不定山口乗吉(三)と町内

で一杯やつた場句泥酔し、の始末と判明

裸で線路を歩く

機關車に觸れ大怪俄草野村大字泉崎字舟田五一農松本信夫三男益男(三)は二十一日午後三時頃草野驛構内無看手踏切を裸で通行中上野行旅客列車が暴進して來り急停車を行つた機關車に觸れて右小指骨折鼓膜を破る等全治三週間の重傷を負つた

軒毎に覗き廻る

薄氣味悪いニヤ／＼男

平町長橋町地内で二十一日夜十時半頃ニヤ／＼笑ひ乍ら軒毎に覗き歩く不審の三十男を附近の者五六名が取り押へて平署に突き出したが取調べた處茨城縣鹿島郡諏訪村大字勝下生れ當時住所不定田口新吾(三)と稱する精神病者と判明同夜は保護を加へて郷里に照會しに

學生に賑ふ

夏枯れ列車

生二十餘名が豊岡海岸のキャンプ生活に一番乗りの來郡等海を慕ふ中通りや會津方面からの來郡で夏枯れの列車を賑せて居る

波立薬師祭禮

三薬師の一つ久之濱波立薬師祭禮は八月一、二兩日盛大に執行されるが當日は最も潮がひいて潮干狩を兼ねた參詣人が殺倒するので便宜を計ると

明日の部

田一雄 後六〇〇 連續童話劇「ボンボコ姉妹」BK子供サークル
後六二五 生活改善講座「公衆道徳」下村宏
後七三〇 故日本放送協會長岩原謙三氏追悼講演 小森七郎 高橋箏庵
後八〇〇 朗讀「或る日の大石藏之助」徳川夢聲
後八三〇 義大夫「平太郎住家の段」竹本叶太夫
後九一〇 今日漫談 秋山右樂 左樂

今晚の部

後六〇〇 お話「齋藤七五郎中將」戸田閑界
後六二五 講演「羽黒派修驗道に就て」實演付 宮田春金他
後七二〇 宮城縣經濟更進講演と座談會

優勝候補

平郵使局野球チームは來月十六日郡山市に開かれ、縣下一二等局野球大會に参加する爲め目下本格的猛練習中であるが本チームは郡山と共に優勝候補チームと目され大いに注目されてゐる

裁判一束

△江名町大字中ノ作字長田五自動車運轉手鈴木玲二郎(三)はトラックを運轉同町鈴木タケヨ(三)さんに衝突全治十日間を要する重傷を負はせて其筋に由告せず業務上過失傷害罪として今二十三日平區野木判事から略式罰金三十圓
△湯本町白煉瓦職工松原兼治(三)驚末吉(三)片山澤吉(三)海老原清之助(三)伊藤達吉(三)同町八仙坑夫菅野富(三)同榮田野菜屋山崎廣一(三)同天王崎無聯富岡實(三)同馬上市(三)同馬上市(三)の名は花札賭博を開張今二十三日平區野木判事から第一罰金七十圓

平局チーム

平郵使局野球チームは來月十六日郡山市に開かれ、縣下一二等局野球大會に参加する爲め目下本格的猛練習中であるが本チームは郡山と共に優勝候補チームと目され大いに注目されてゐる

明日の部

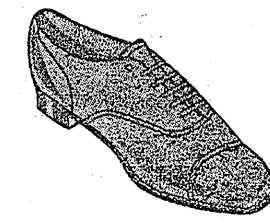
田一雄 後六〇〇 連續童話劇「ボンボコ姉妹」BK子供サークル
後六二五 生活改善講座「公衆道徳」下村宏
後七三〇 故日本放送協會長岩原謙三氏追悼講演 小森七郎 高橋箏庵
後八〇〇 朗讀「或る日の大石藏之助」徳川夢聲
後八三〇 義大夫「平太郎住家の段」竹本叶太夫
後九一〇 今日漫談 秋山右樂 左樂

平職案紹介所報告

△人を求める方
△女中 廿五才 迄尋卒 給五圓
△石版印刷工 廿五才 高卒
△コック 廿四才 尋卒
△サイドカー運轉手 卅才 尋卒
△見習看護婦 廿三才高卒

菊地靴店

紳士靴 婦人靴 學生靴 夏向白靴
各種取揃へてあります
自製注文靴は品質吟味……
期日迅速……
御用命の程……
電話 六五九
平四 マルトモ内



和漆器家具

和漆器家具

義経の瓦解の謎

悟道軒圓玉(作) 丸尾至陽(畫)



一七八 宮様御下山

幕府講武所劍道指南役神原健吉、この人の門人には旗本又御家人が多い、それは上野へ入つたが健吉は彰義隊へ加入したさす

健「無名の戦に命をすてるはおろかなことだ、山内に居るものは武士の意氣地であるから勝敗は眼中におかぬなどと申して居れど、最初から敗けるものと覺悟いたして居つては充分の戦は出来まい、意氣地だとしてこんなところに意氣をしめすはむだなことだ。しのびがたきをしのぶこそ眞の武士だ、それ故俺は上野には入らぬ」

健「どうだ、いくさの様子は」
○「大分官軍の景氣がよる七いやうてございます」
健「ドーンバラ、ワーツといふときの聲」
健「火の手が見えるな」
○「中堂に火がかかりました」
健「中堂に火がかつたなどそれは一大事だ、輪王様の御身の上心もとなし



守護し参らせむ」
と麻の筒袖に野袴をうがち織張の陣笠をかむり、大小を腰にし、肥後大村堅に筋鐵を入れた目方十六貫目おる棒を小脇に今屋敷を出や

事あつては一大事何とぞ本坊にお出でになつて御守護くださるやう」
健「お、承知いたした、今これより御本坊へ参るところだ」
○「それはよい折柄にございまして然らばお供をいたしませう」
健「時に山岡は如何いたした」

うとした時にかつて来たつた一人の兵

兵「神原殿、ございませうか」
健「ウム神原であるが何事だ」
兵「手前は山岡鐵太郎の使者にござる」
健「お、左様か、して使命は」
兵「山内は今や總敗軍となり輪王寺の宮様の御身に凶

には兵もぬない、この坂を上つて本坊に参り健「健吉推参いたしたり、神原輪王寺の宮様のこところにて御壽をせむめしたまへば徳川家の舊臣共尊き御方を失ひ参らせし罪によつて徳川家は朝廷より重きお咎めを除んであらう、何卒徳川家をわれと思召速に當山をお立退きあらせられませうやう」
と玄關の敷臺をどう／＼と踏みならして高聲に叫んだ、宮様は最後讀經を遊ばされ、居られたが、覺王院義観は神原の申すを聞いて義「おそれながらこの所にて凶事ござりましては累を徳川に及ぼすこと、存じませ、さすは御心にもとることござりませう、神原のいさめにしたがひたゞ今のうちに立退きあつてしかるべく存じまする」

と篠原、春莊院、松山貞泉などといふ役僧と共にこのことを申し入れた、宮様これを篤と聞かれて宮「しからは當山を立ちのくであらう」
とやう／＼御承知なされた、そこで覺王院が神原にこの事をつたへたをこへ池田大隅守が参つて宮様はじめ付添の僧をお庭より北山の御院殿におうつし申すこととしたらなほ官軍の目をあさむく爲めに所化の着て居た古びたる法衣にお着せ申し、覺王院姓め僧侶五人に神原健吉がつきそつて以上七人根岸の方へお落し申す、その時池田大隅守の計らひにて同じ扮装をした僧を御門主の如く見せてやほり七人にて新門より金杉を経千住の方へおとしたはこれまた官軍を欺く手段。

夏の御飲み物

- アイスクリーム
- ミルクセーキ
- ソーダ水
- 色々
- アツキアイス
- 別味みつ豆
- 特製 氷あづき

魚清食堂

例年通り始めました
宇治名産氷挽茶、御土産に好適なクリームモナカも御座います。

夏は!!!

キヤンプとハイキング
いつもお供は
マイコーカメラ
海も良し!!!山も良し!!!
これさへあればいつも朗か
楽しい旅行

素人向のカメラとしてどこまでも初心者親切に出来て居るやうです。このカメラならどんな素人でもキレイな寫真が直ぐ撮れます。
トウゴロカメラ 特約店
MSIカメラ
いづみや玩具店
カメラ部

吸入用酸素純度 99%

モノサシ
マ ス
ハカリ
器量計
体温計
寒暖計

●秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス
●寫真材料一式販賣致シマス

關内藥局

電話四〇番

鈴木醫院

耳鼻咽喉科専門
醫學士 鈴木 正 男
平町田町 (電話五八番)
藤田女學校前

自炊のお需めに應ず
入院の便あり